

2024年1月

No. 73

書道教室 薬院 一凜
sho-do ICHIRIN

繼續は力なり



一凜 月刊



夢は美しよ
希望は高きよ
夢も希望も捨てなければ
必ず近づく

刻むよ



月刊一凜 No.73〈2024年1月〉

《競書審査員》佐々木峯雲 《発行》書道教室 一凜 薬院 《小作品査定員・制作》野口昌芳(NS)



書道教室 薬院 一凜
sho-do ICHIRIN

〒810-0022 福岡市中央区薬院3-7-25 原ビル2F
TEL / 092-791-7251 FAX / 092-791-7786
<https://www.shodo-ichirin.com/>

時を得ては怠ることなし、時は再び来たらず
時こそ命なり

時を得ては

急ぎだ

時は再び

来しづ



- 一日一字を記さば一年にして三百六十字を得、一夜一字を怠らば、百歳の間三万六千字を失う
- 石の上にも三年というしかし、三年を一年で習得する努力を怠つてはならない
- 明日はなんとかなるだろうと思うがいい
- 明日だ明日、今日はやめよう怠えられています。人それぞれがその時間をどう使うかによって大きな違いが出てきます。時間を無駄にしないように日々の生活を大切にしなければいけないと私は頭では十分理解出来ているつもりでも、明日は必ず来ると思います。「人の命は明日をも知れない」と私達は頭では十分理解出来ていることを忘れてしまうことが多々あります。
- 今やれることを、今やらなかつたことにもありません。ですから、仕事や趣味や家族と過ごす時間など、今日出来る事は後回しなどせずに、この時を大切に過ごさなければいけないと私は思います。
- 明日が必ず迎えられる保証はどこにもありません。ですから、仕事や趣味や家族と過ごす時間など、今日出来る事は後回しなどせずに、この時を大切に過ごさなければいけないと私は思います。
- 前後を切斷せよ、みだりに過去に執着するながれ、いたずらに将来に未来を属すながれ、満身の力をこめて現在に働く
- 朝寝をする人間で、いつぱしの人生を漫然と過ごして失敗する
- 先延ばしにする癖のある人は、人生を空費してはならない
- 一日だけ生きればいい明日、明後日のことを考えるから面倒になる
- 五年前にあなたは何をしていましたか？その答えが「いま」である
- 一日一生 一日は貴い一生である
- 朝寝をする人間で、いつぱしの人間になつたものなど一人もいない
- これは空費してはならない
- 今から一年後、あなたは今日から始めていれば良かつたと望んでいるだろう
- これが空費してはならない
- 人間は常に時間が足りないところを切に願うばかりですが、そんな中、一日一日一生懸命過ごしてお互い実り多い一年にしていくたいものです。
- 新しい年が始まりました。良い年であることを切に願うばかりですが、そんな中、一日一日一生懸命過ごしてお互い実り多い一年にしていくたいものです。
- カレン・ラム(女優) 内村鑑三(思想家) アンドリュー・カーネギー(アメリカの鉄鋼王) ジョナサン・スウェイフト(作家)
- 佐々木峯雲

時を得ては
急ぎだ
時は再び
来しづ



佐々木峯雲

墨を擦る

文=岡田 雄希

政 治家裏金問題など不愉快なニュースが続くが、大谷翔平選手のニュースは本当にすがすがしい。今オフ、フリーエージェント(F.A.)となり、世界中の注目を集める中でメジャーリーグの名門ドジャースに入団することになった。10年総額7億ドル(約1015億円)、プロスポーツ史上最高の契約内容だが、こと大谷選手がかわると納得の金額に思えるから不思議だ。

高校3年生ながら大谷選手は2012年当時、メジャー挑戦の意思を表明した。あの時、ドジャースはいち早く動いた。ドジャースの極東担当スカウトで直接面談したK氏から聞いたところがある。当時、K氏は「好感触を得た」と話していた。

ところが日本プロ野球機構(NPB)のドラフトで日本ハムが強行指名。日本ハムは細かい育成方針を作成し栗山監督らが熱心に説得したこと、大谷選手は入団を決めた。2017年には大谷選手がポスティング制度を利用して、改めてメジャーへ移籍を決断した際にもドジャースは最終候補リスト7球団に残っていた。ただ、ドジャースが戦っていた当時のナショナル・リーグにはDH制度がなかった。日本ハムで磨き上げてきた「二刀流」が難しいため、DHがあるアメリカン・リーグのエンゼルス入りしたともいえる。

大谷選手の口癖は「野球を楽しむために練習をして、試合もしている」だ。野球が好きで好きでしかたない少年がそのまま大

じやありませんので

K氏自身は高校球児で甲子園への出場経験はないものの巨人の入団テストに合格し投手としてプロ入り。しかし、左ひじを痛めて巨人を退団し、メジャーのテキサスレンジャーズのテストを受け傘下のマイナーリーグでプレーした経験を持つ。メジャーリーガーに比べ、決して待遇面でよいとはいえないマイナーリーグだが、K氏は「それでも野球が楽しくて仕方なかつた。日本でプレーしていたら経験できなかつたところばかりだった」と話していた。

大谷選手という原石をNPBの日本ハムがカットし、メジャーのエンゼルスが磨き上げて、名門ドジャースが契約金にふさわしい巨宝にしてくれる気がする。しかも、K氏と同じように野球を楽しみながら…。大谷選手がどんなにまばゆい輝きを見せてくれるのか来季からが楽しみだ。

おかだ・ゆうき／昭和33年3月20日、北九州市生まれ。平成23年12月に一凜に入門。趣味は自転車と酒を飲むこと。酒は誘われたら断らないがモット。

条幅漢字

書き始め「蘆」がやや右上がり気味以外は全て緊張感を保つてバランス良く書けている。「花」「衰」「處」「望」の右払いの筆使いも要領を得てきた。



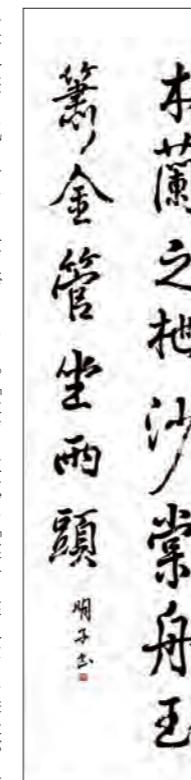
月色横斜窓一葉秋
聲一叶在樹中間



前半部「分窓一葉秋」の濃淡が単調で重いが、後半は上手く出せて可。
後半始め「聲」「正」は運筆にメリハリが効いて躍動感がある。



星河か跡水如月
露凝翠葉月夜移



小田 明子

書き始め「星」や「水」「風」の滲みが気になる。
「水風露無聲」は濃淡が上手く出せて可。「月満樓」の連綿もスムーズな流れ。

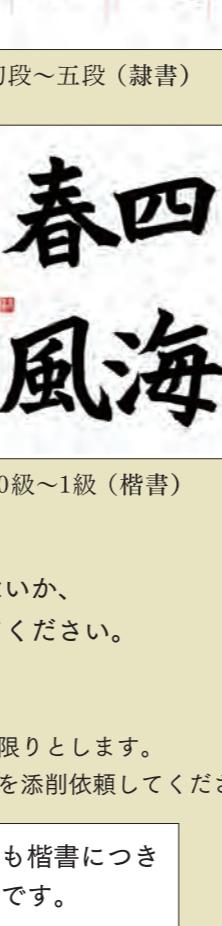
各字終筆に気を付けて仕上げている。「木蘭之柵沙」「棠舟玉簫金」は濃淡が上手く出せて可。「沙」の最終右払いが淡泊な線になつた。

準教授対象 制作作品

門何處開楓葉裏山

片山 道子

全体的に線がやや細いが品良く仕上がった。前半の濃淡は不足気味だが、「水風露無聲」は上手く出せて可。各連綿の運筆も慌てることなく書けている。



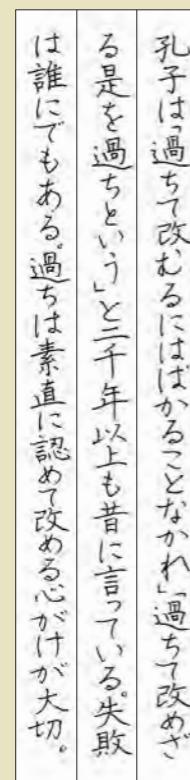
星河か跡水如月
露凝翠葉月夜移

山田 幸代

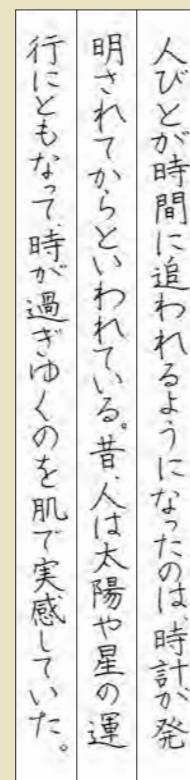
1月分課題

1月分課題は2月10日(土)が提出期限予定です。
諦めることなく、コツコツと努力することが何より大切です。
みなさん、今月も頑張りましょう。

硬筆

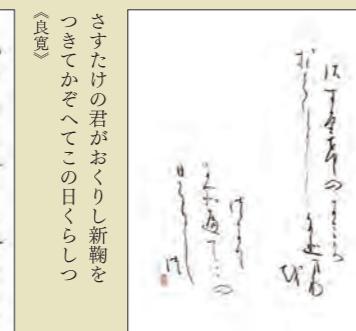


初段以上

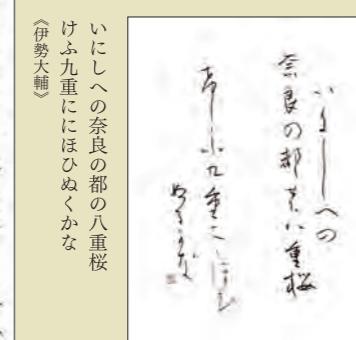


10級～1級

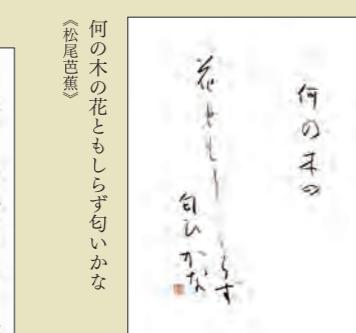
かな



六段以上



初段～五段



10級～1級

- 配布された手本に間違えがないか、
上記課題一覧を必ず確認してください。

硬筆の添削に関して

初段以上の方の添削は毎月1回限りとします。
十分練習を重ねて仕上げた作品を添削依頼してください。

今月の硬筆課題は初段以上も楷書につき
六段以上の方の添削は不要です。

何気ない日常の、何気ないやりとり。

さふらふ 20

拝啓 初春の候

昨年末は色々な音楽番組が放送されていましたね。慣れ親しんだ心地よいメロディに癒されたのと同時に、現代の斬新なリズムに刺激を受けたりました。先生はSNSやサブスク主体の今の楽曲をどう捉えていらっしゃいますか?

私は、音楽のsubscription(定額聞き放題)に関しては全く興味ありません。

感覚が古くupdate出来ていないと思われるかもしれません、私は今後も本当に聴きたい音楽はCDやレコードという媒体を選択することに断固拘り続けたいと思っています。

CDケースからCDを取り出して、トレーに置いてplayボタンを押し、ジャケットを眺め、ライナーノーツ(歌詞・解説書)を読みながら音楽を楽しむ、心を癒してくれる音楽に対しては、こういったひと時間、ルーティーンを無くしたくないです。

昨今の流行歌(私にはほぼ雑音で耳に入りません)にはインtroの無い歌が多いです。それは、特に2世代がカラオケで歌う際に、インtroが流れている間手持無沙汰になるからという理由もあるそうです。そんなせっかちな人には、インtroが50秒もあるイーグルスの名作「ホテルカリフォルニア」の良さなど分からぬのでしうね。

動画も早送りして観る若者が増えてきています。話題についていくには見なければいけない動画が沢山あり時間が足りないと理由からだそうです。

音楽もSubscriptionが主体になったのは、なんとなく薄く広く音楽を聞いて話題についていかないといけないということが要因でしょうか。

そんな彼らに私は言いたい。「君たち、そんなに急いで何処へ行く!」と。

80年代から90年代に一世を風靡したカセットテープが若者の間で再び注目を集めつあるとのこと。アナログ音源の温かみのある音がレトロで懐かしい雰囲気が魅力らしい。

Subscriptionを否定はしませんが、カセットテープと同様に、CDやレコードの媒体でお気に入りの音楽を聴く楽しみも是非知ってほしい、忘れないで欲しいと超アナログな私は思っています。



COVER ART
Miki Araki